

前期基本計画 平成30年度 基本施策方針書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘 睦子
関係課長職・氏名	児童福祉課長 丹野 宗浩、地域包括支援センター所長 佐藤 修子

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

第1次滝沢市総合計画において、市は「幸福感を育む環境づくり」を目指すこととしています。同計画のアンケートにおいて、幸福感を判断する重要事項として最も高かったのが「心身の健康」という結果でした。市民が幸せを感じながら笑顔で暮らすためには、「心身の健康」は大切な条件の一つであり、また、病気や障がいがあっても、その人の考える健康の実現は、その人らしく豊かな人生を送るために重要です。市民一人一人が健康に関心を持って、生涯を通じて主体的な健康づくりに取り組めるような環境を整備するとともに、個人や家庭だけではなく、自治会等の地域や関係機関、行政が一体となって互いに支え合いながら健康な地域、健康な滝沢市を目指します。

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60.5	-
			57	58.4	0	-	-	0.0
2	幸福 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	-
			58.2	55.8	0	-	-	0.0
3	暮らし 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合 単位 %	56.2	59	60	61	62	63	-
			58.1	59	0	-	-	0.0

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)
1	暮らし 02060100 望ましい生活習慣の定着 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60.5	-
			57	58.4	0	-	-	0.0
2	幸福 02060100 望ましい生活習慣の定着 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	-
			58.2	55.8	0	-	-	0.0
3	暮らし 02060200 みんなで進める健康づくり 健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数 単位 回	87	87	88	89	90	91	-
			86	174	0	-	-	0.0
4	幸福 02060200 みんなで進める健康づくり 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	-
			58.2	55.8	0	-	-	0.0
5	暮らし 02060300 安心し子どもを産み育てるための支援 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合 単位 %	56.2	59	60	61	62	63	-
			58.1	59	0	-	-	0.0

前期基本計画 平成30年度 基本施策方針書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘 睦子
関係課長職・氏名	児童福祉課長 丹野 宗浩、地域包括支援センター所長 佐藤 修子

2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 基本施策目標の進捗状況分析

- ・自分が心身ともに元気と感じている人の割合は、年々増加傾向にありますが、健康づくりに取り組んでいる人の割合は基準値より低くなっており、健康づくりの実践、継続するための支援が必要です。
- ・健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数は目標値を上回っており、地域で健康づくりをすすめやすい環境になっていると考えられます。
- ・子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合は、年々増加しており、今後も子育ての不安が軽減され、安心して子育てができるよう育児支援事業を充実して参ります。

(2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

- ・健康志向が高まる一方、自動車社会による運動不足や、外食産業の発展に伴うエネルギーの過剰摂取、ストレスを抱えやすい社会環境等、健康づくりを進めるための環境が損なわれてきています。
- ・少子、核家族化により、育児が世代間で伝達されにくく地域との関わりも希薄になってきています。また、親子の愛着形成が図られないまま親となり、育児が困難となったり、自己肯定感の低下からうつなどの精神障がいなどで支援を必要とする事例が増加してきています。
- ・経済的理由による受診抑制等、経済格差が健康格差につながっていく可能性があります。

(3) 政策との関連性

「健康」は目的ではありませんが、自分らしく笑顔で暮らすための大切な条件の一つです。また、市民が幸福を実感するための最も重要な条件として最も高かったのが「心身の健康」でした。

市民一人一人が健康に関心を持って「自分の健康は自分で守る」を意識し、主体的な健康づくりに取り組むとともに、地域ぐるみで健康づくりに取り組むことにより、政策である「健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します」を実現することができます。

3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- ・自分の健康状態を把握し主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、概ね40歳から64歳までの成人を対象とし、がん検診を含む各種検診事業を実施するとともに、健康教育・相談、広報、ホームページ等、多様な機会をとらえて健康知識の普及啓発等を行い、市民が健康づくりを進めやすくするための環境を整備してまいります。
 - ・地域で中心となって健康づくりをすすめる「健康づくり支援者」の養成や育成に努めます。また、地域と連携した健康づくりをすすめるための話し合いの機会や協働での健康づくり事業を行ってまいります。
- ※健康づくり支援者：保健推進員、食生活改善推進員、運動普及推進員等
- ・生まれてきた全ての子どもが健やかに育つよう、乳幼児健康診査、予防接種等の健康支援とともに、乳児全戸訪問等の育児支援事業を通し、安心して子育てができるよう支援して参ります。

(2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

- ・自治会等地域や団体等との連携を強化した健康づくりの推進（滝沢市健康づくり宣言）
- ・各種健診の受けやすい環境づくりに向けた改善の取り組みと検証
- ・健康づくりに関する情報提供の拡大と、健康づくり支援者等健康づくりに関わる市民の増員と資質の向上
- ・妊娠・出産への支援の充実（子育て世代包括支援センターの体制整備）
- ・乳児全戸訪問事業の継続とフォロー体制の強化
- ・育児支援事業の充実

(3) 基本計画期間及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- ①自治会等地域や団体等との連携を強化した健康づくりの推進（滝沢市健康づくり宣言）
- ②妊娠・出産への支援の充実（子育て世代包括支援センターの設置）
- ③第2次滝沢市地域保健計画及び第1次滝沢市母子保健計画の周知と推進

